1 職時会

P6

一部事務組合の議会議員を選出



なければ自治体競争に勝 ち残れない状況でもあり、 その中において、選択さ れる石川町となっていか なくてはなりません。 そうした状況を考える とき、議員の日々研鑽は もとより、議会が一丸と なって議論を重ねていく 必要があり、議会の役割、 必要があり、議会の役割、 のと考えます。

あいさつといたします。お願い申し上げ、就任の皆様のご理解とご協力をもましては、町民の

町民の誰もが、安心し町民のための施策に、積極のと考えます。

あります。

今、地方創生時代を迎える中、人口減少への対 た、そして地域経済の活 性化、さらには持続可能 な公共交通体系の確立や、 東日本大震災の教訓を踏 まえた防災・減災対策な ど、多くの課題への取り と、多くの課題への取り と、多くの課題への取り をったなしと なっています。

田

英重氏

議

会

丸とな

つ

たまちづ

を

議

長

山

H

和雄

すべく努力をする所存でが、この方えは、全力をが、このうえは、全力をが、この大任を果たが、この大任を果たが、この方は、全力をが、この度の臨時会におき 発展



ただくことになりましたもでの任を務めさせていまして、議員各位のご支まして、議員各位のご支 職責を果たすべく最

ります。 大の努力をする所存であ

第22代副議長に 山

地方創生元年、わが国地域経済の縮小が人口減地域経済の縮小が人口減少を加速させています。この人口減少に歯止めをかけるためには、「してと」をでひみ、そでと」を呼び込み、そがる地域社会環境を

と考えます

作っていかなければなら ないと考えます。石川町 の実態を踏まえ、創意工 夫、新たな挑戦的な取り と思いますが、町民の皆 様の声にも真摯に耳を傾 けていきます。議会は けていきます。議会は 性化に取り組まなければなら

副議長 田

常に公正・公平な立場で、スムーズな議会運営で、スムーズな議会運営を心掛け、議長の補佐役として石川町の発展のために全力で取り組む覚悟

に開かれました。

日に行われた石川町議会による初めての議長に出る初めての議会でお行われ、議長・副議長の選が行われ、議長に下山田和雄氏、副議長の選が行われ、議長に下山田和雄氏、副議長の選任、一部の大田の一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を改正する条例」「石川町職員の当時に、一部を対象の当時に、一部を対象を対象の当時に、一部を対象を対象の当時に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「石川町職員の当時に、「石川町職員の当時に、「石川町職員の当時に、「石川町職員の当時に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「石川町職会」に、「田川町事業」に、「田川町事業」に、「田川町事業」に、「田川町事業」に、「田川町事業」に、「田川町事業」に、「田川町職」に、「田川町職」に、「田川町職」に、「田川町職会」」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町本会」に、「田川町職会」に、「田川町本会」に、「田川町・田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町職会」に、「田川町本本の、「田川町本の、「田川町本本の、「田川町本の、「田

案のとおり全員異議なく 委員の選任について」原 でついて」「石川町監査

 \Diamond

総務産業建設常任委員会

行財政改革推進室、総務課、地域づくり推進課、 ・市建設課、産業振興課、都 ・市建設課、会計室、議会 事務局、監査事務局、農 業委員会及び水道事業所 等に関する事務並びに他 の委員会に属さない事務 について、審査及び調査 します。

委

員

委委委委副 委員

員員員員員長長

山矢渡関根小草田内辺根本木野

英義 武重芳伝重將実一泰郎明



文教厚生常任委員会

タートしました。年間の委員会活動が

新体制のもと、

今後2

ス

した。
参員会の構成が決まりま
副委員長の互選が行われ、

各常任委員会、議会運

構成が決まる

では、 (国保年金、消防防災、 で調査します。 及び調査します。 及び調査します。 社会教育等) 委 委 委 委 委 員 長 員 員 員 長 健康増進、 \Diamond 学校教育、 学校教育、 学校教育、 下山田和雄中村孝太郎 一夫 永瀬近増瀬沼谷内子谷 寿 雅 夫 京子

 \Diamond 山 関田 根 瀬渡永谷辺沼 英武寿 一重一集夫

請願等を審査します。 議長の諮問に関する事項 規則や委員会条例等及び 規則や委員会条例等及び

高工、観光、道路センター、税務、まちづくり財務、まちづくり

3

寿

平成27年第5回石 初議会レポー 9 回石15川 ŀ



Distribu

紹介します



英重 (67歳)

字王子平52 当選2回(農業)

町民の声を町政に反映し、 農業、商工業の活性化、若者 が定住できる環境づくり、子ど もたちに夢と希望の持てる、ま ちづくりのために頑張ります。





9番 瀬谷 京子(71歳)

大字中田字内出264 当選3回(無職)

初心に帰り、議員の本分を 認識し、町民の皆様の声を真 摯に聞き、負託にこたえるよ う努力して、町政進展に貢献 します。



10番

永沼 一夫 (61歳)

大字湯郷渡字二百畑87 当選4回(農業)

行財政改革推進と地域産 業の発展を、町民の皆様と 共に考え、活力あるまちづ くりに一生懸命頑張ります。



5番 増子美知夫(65歳)

大字沢井字上ノ原96 当選1回(無職)

少子高齢化が叫ばれている 今こそ、町民の声を活かし、 町の活力維持向上のため、福 祉・医療の充実、産業振興に 努力してまいります。



6番

草野 伝明(61歳)

大字曲木字仲ノ内90 当選2回(会社役員)

町民の声を真摯に受け 止め、町民に開かれた議会、 信頼される議会を目指し、 町政発展のために努力いた します。





1番

根本 重泰 (56歳)

大字坂路字川平12 当選1回(自営業)

地域の課題、町の課題を -つずつ解決し「愛するふ るさと石川町」の未来づく りに誠心誠意、努力いたし



2番

近内 雅洋(61歳)

大字中野字福貴田37 当選1回(会社役員)

既存産業及び地場産業育 成に力を入れ、地域産業の 活性化により雇用の確保を 行い、人口減少に歯止めを かけます。



14人の議員

14番

下山田和雄(74歳)

字長久保86-1 当選2回(無職)

「みんなで創る 住みた いまちを」。町民の皆様の声 を大切に、町政に活かし、農 商工と観光が連携したまち づくりに全力で取り組みます。





11番

矢内 義將 (74歳)

大字板橋字茅刈場58 当選5回(農業)

安全で安心して暮らせるま ちづくりのため、教育や商工業、 少子高齢化など、町民の声を 町政に反映させ、町活性化の ため最大の努力をいたします。



12番

中村孝太郎(68歳)

議席番号

住所

抱負

氏名(年齢)

当選回数 (職業)

字高田118 当選6回(会社役員)

二元代表制の議員の役割 と住民自治の意義に基づき、 住民の意思に依拠した、住 民本位の町政実現のために 努めます。



大字沢井字十三塚35 当選3回(会社員) 町民の皆様の声を一つ一つ

町政に届け、夢と希望の持て るまちづくりを目指すととも に、地域の活性化を図り、町 発展のために努力します。



8番

渡辺 実 (67歳)

> 大字北山形字引地 1 当選3回(農業)

町民の声を町政に活かし、町 政の監視と政策提言を行います。 若者の定住と誘客の増加、教育 と福祉の充実、農業の振興、市 街地活性化に努めます。



3番

瀬谷 寿一 (62歳)

大字中田字内出54 当選1回(無職)

「成せばなる 成さねばなら ぬ 何事も ならぬは人の 成さ ぬなりけり」。この言葉を胸に まちの宝を活かした観光交流 のまちづくりに取り組みます。



4番

小木 芳郎 (62歳)

大字板橋字沢古屋199 当選1回(農業)

農商工業の担い手である若 者が、安心して定住できる町 に。高齢化社会の今、医療、介 護、子育て支援の充実に努力 し、町民の代弁者となります。



会議員を選

合といいます。 るために設ける地方公共 関係市町村で共同処理す 図るため、特定の事務を 団体の組合を一部事務組 この組合は、これを構 行政の能率・効率化を

> 組合議会議員(5人) 石川地方生活環境施設

浅川町、 古殿

構成されています。 選出された17人の議員で 石川町、 平田村、玉川村から

議 議 議 議 員員員員員 矢内 関根 増子美知夫 近内 中村孝太郎 武

議会が必置とされ、次の 別地方公共団体であり、 別個の法人格を有する特 成する地方公共団体とは

組合議会議員が選出され

合議会議員(2人) 須賀川地方広域消防組

石町、 平田村、浅川町、古殿町 員で構成されています。 から選出された22人の議 石川町、 天栄村、玉川村、 須賀川市、

議 議 員 員 永沼 下山田和雄 一夫

> 第4回臨時会 7月17日

理委員を選任する議案2 日に開催され、財産区管 第4回臨時会は7月17

議案第56号

鏡

選任について」 母畑財産区管理委員の

近委内

雅 ^員 洋

山委田

英 ^員 重

賀長一さんの選任につい さん、瀬谷長一さん、芳 関根孝男さん、塩田隆義 雄さん、大木利春さん、 て同意しました。 鈴木清一さん、 渡邉義



瀬谷寿

増子美知夫







小委 木 芳 ^員 郎

根本 重泰

広報編 集特別

件を審議しました。

出の監査委員の選任につ 任期満了に伴う議会選)議案第57号 中谷財産区管理委員の

町長から提出され、

いて同意を求める案件が

雅洋議員を選任すること

に同意しました。

現職の渡邉英昭代表監

意しました。 南條博さん、緑川正信さ 幸さん、添田光重さん、 選任について」 ん、鈴木傳さん、瀬谷守 一さんの選任について同 大和田実さん、 斎藤英

監査することになります。 務会計など全般について 査委員とともに、町の財

監査委員に

近内雅洋議員

くお願いいたします。 いきますので、よろし 紙を目指して努力して 委員が選任されました。 より親しまれる広報 第6回定例会におい 議会広報編集特別

委員長 瀬谷 小 近木 内 寿一

議会広報編集特別委員 增子美知夫 芳郎 雅洋

平成27年11月1日

6